

2型糖尿病治療薬 NPS調査

2017/06/

Rakuten Research

General Research Group

Medical Team

2型糖尿病治療薬NPS調査

楽天リサーチ株式会社(本社:東京都世田谷区、代表取締役社長:田村篤司、以下「楽天リサーチ」)は、「糖尿病治療薬のNPS(Net Promoter Score) 調査」をインターネットで実施しました。

「NPS」は、顧客ロイヤルティを図る指標の一つで、ベイン・アンド・カンパニー社が開発しました。

「商品やサービスの他者への推奨」という考え方は、医療用医薬品の製品評価方法としては質問の仕方など、工夫を要する面がありますが、一つの質問で数値化が可能で、時系列比較、層別分析、数値目標設定など、幅広く活用できる指標です。

そこで今回は、数多くの新製品が継続的に市場に参入している2型糖尿病治療薬市場において、使用しているSGLT2阻害薬/DPP-4阻害薬/GLP-1受容体作動薬を対象とする自主調査を行いました。

■ 調査期間、調査対象は以下の通り。

◆ 調査期間:2017年5月

◆ 調査対象:下記の診療状況を何れも満たす医師

・ここ1か月間に2型糖尿病薬物療法実施患者10人以上

・SGLT2阻害薬/DPP-4阻害薬(配合剤を含む)/GLP-1受容体作動薬何れかの製品を使用

◆ 調査地域:全国

◆ サンプルサイズ:309

■ □調査結果概要□ ■

～糖尿病治療薬：DPP4阻害薬、SGLT阻害薬、GLP1受容体作動薬のNPS回答傾向～

■ プラスのNPSが出たのは25製品中、3製品。

- ✓ 11段階中9,10を回答した[Promoter]から、6以下を回答した[Detractor]の回答率を引いた「NPS」は、3製品のみ、プラスのスコアを示した。
- ✓ 処方医100人以上のDPP4阻害薬6製品のNPSは、「トラゼンタ」「テネリア」が他4剤(ジャヌビア、エクア、ネシーナ、グラクティブ)より高めであった。

■ 推奨度と製品処方人数の相関関係は、一部について確認された。

- ✓ DPP4阻害薬6製品での【推奨度×医師1人あたり処方患者人数】を見ると、「エクア」、「ネシーナ」、「テネリア」の3製品で相関関係がみられた。

■ 推奨度とメーカー評価の相関関係は、各製品とも一定程度確認された。

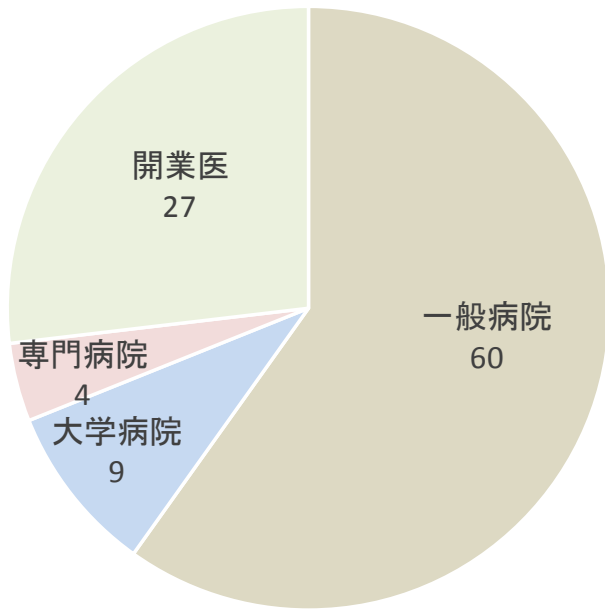
- ✓ DPP4阻害薬6製品での【推奨度×メーカー評価】を見ると、8社中4社で[Promoter/Passive>Detractor]の傾向がみられた。

■ 考察

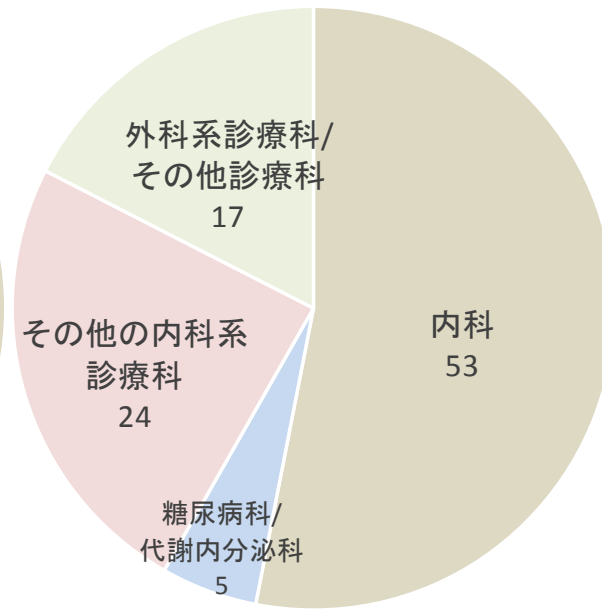
- ✓ 一般的に、NPSは売上と相関があると言われているが、糖尿病薬にあてはめた結果、同一領域の競合品間でNPSと処方人数の相関がみられた。このことは、現状評価が処方に反映されている結果であり、今後の処方も堅調に推移する可能性が推測される。
- ✓ 今回、25製品中NPSでプラスの値を示したのは僅かであったが、NPSの活用は、スコア自体がマイナス/プラスであることの意味よりも、競合製品間の相対比較、回答者属性(ターゲット)における結果をベンチマークとする「指標」としての活用、各セグメント(Promoter/Passive/Detractor)への施策検討への活用が有用であり、今後の活用を検討されたい。

回答者属性

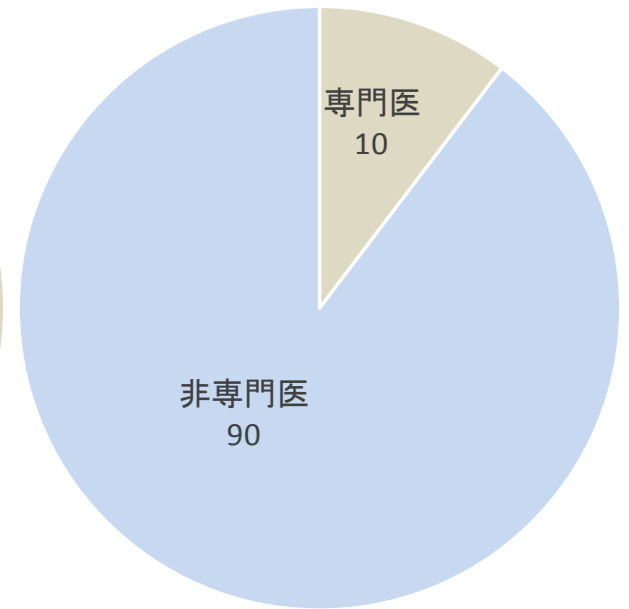
■勤務先



■所属診療科



■糖尿病学会登録状況



(%)

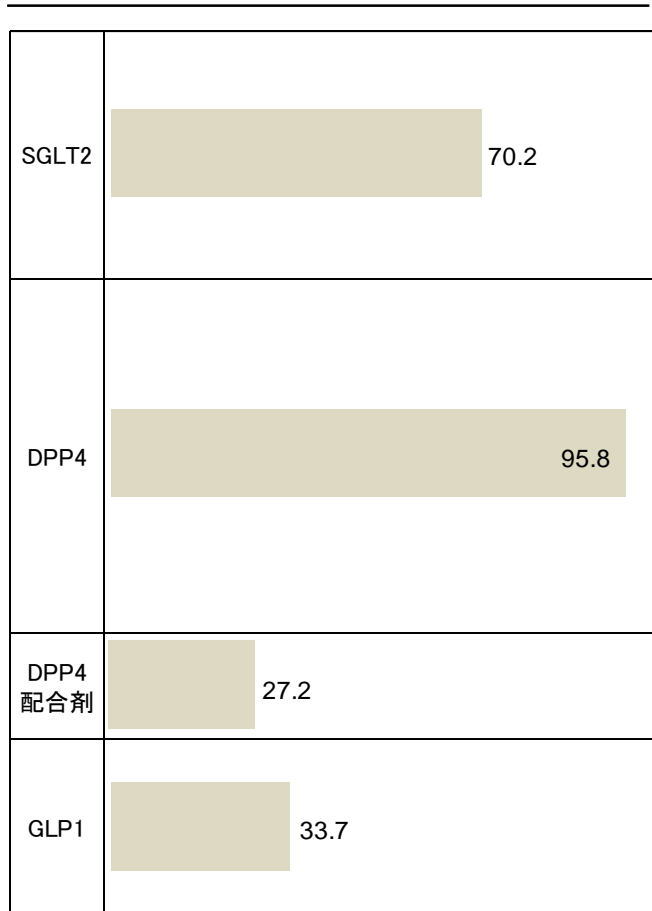
■基数:ここ1カ月に2型糖尿病薬物療法実施患者10人以上の医師;n=309

※診療科;開業医は「第一標榜」を示す。

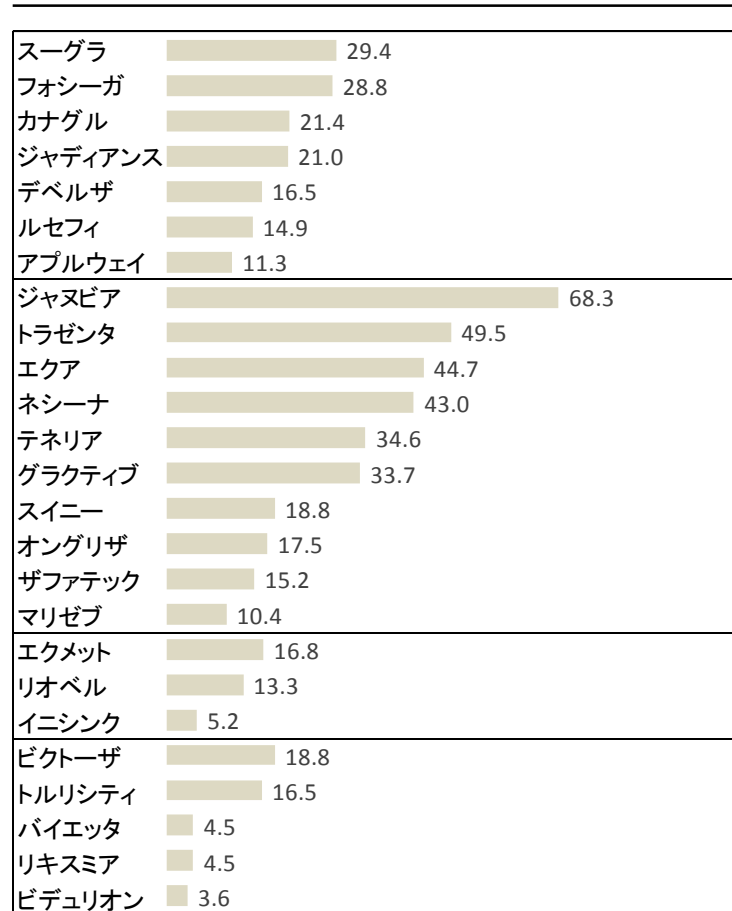
処方製品(医師ベース)

- 薬効別では、SGLT2阻害薬使用医がDPP4阻害薬に次いで7割、DPP4配合剤は現時点で3割弱。
- 製品別では、ジャヌビアが68%で最も高く、DPP4阻害薬は10%~68%で使用割合がばらついている。

■薬効別



■製品別



(%)

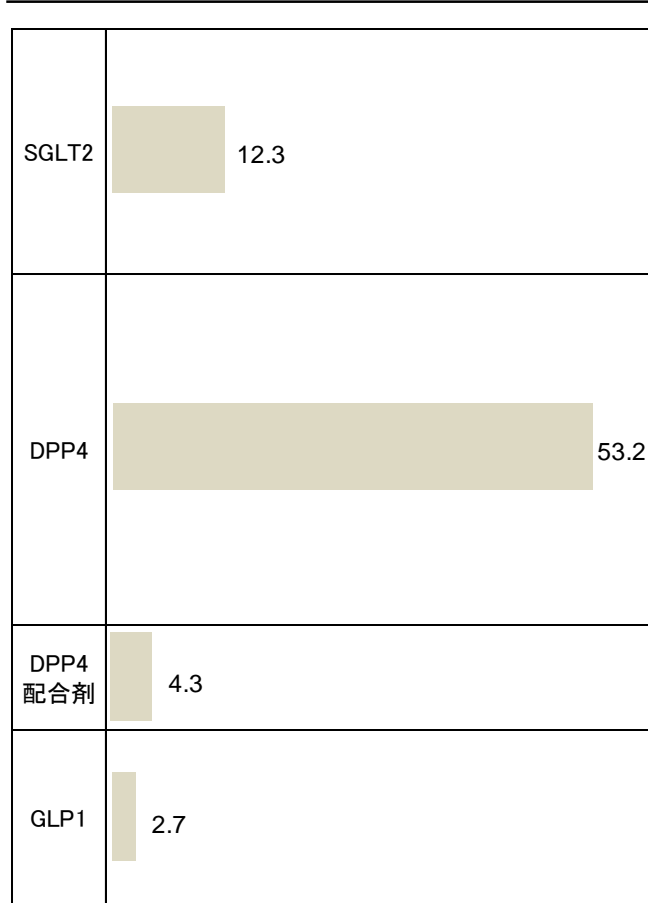
Q2.ここ1カ月に先生が担当なさった2型糖尿病薬物療法実施患者さんに対して、下記に挙げる製品のうち、処方なさったものをすべてお選びください。(いくつでも)

■ 基数:ここ1カ月に2型糖尿病薬物療法実施患者10人以上の医師;n=309

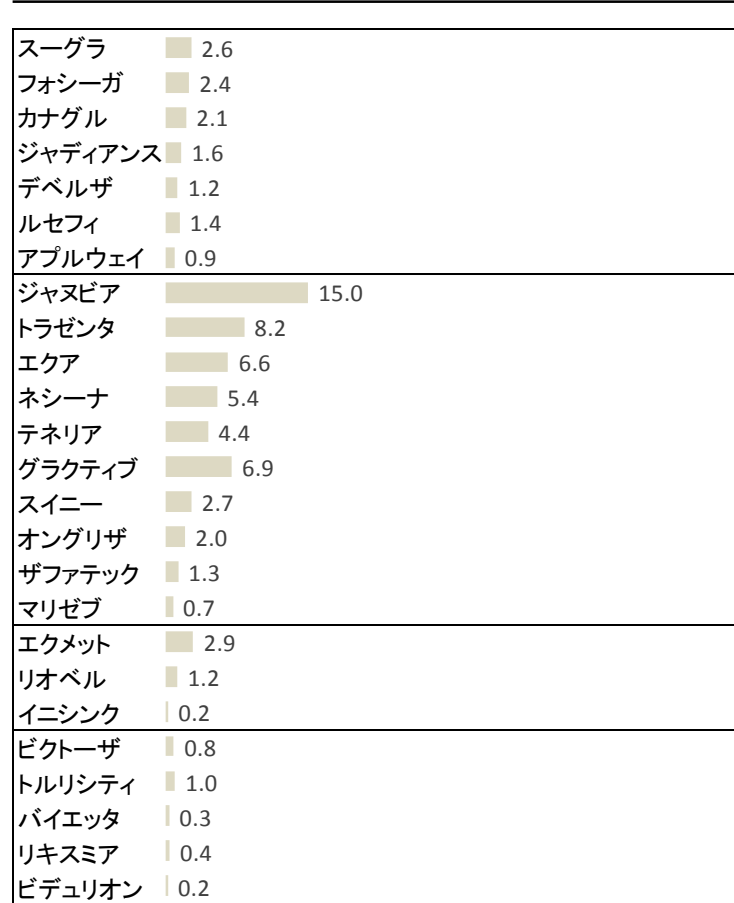
処方製品(患者ベース)

- 薬効別では、DPP4阻害薬処方患者が53%、SGLT2阻害薬は現時点で1割強。
- 製品別では、ジャヌビアが15%で最も高く、唯一10%を超えた。

■薬効別



■製品別



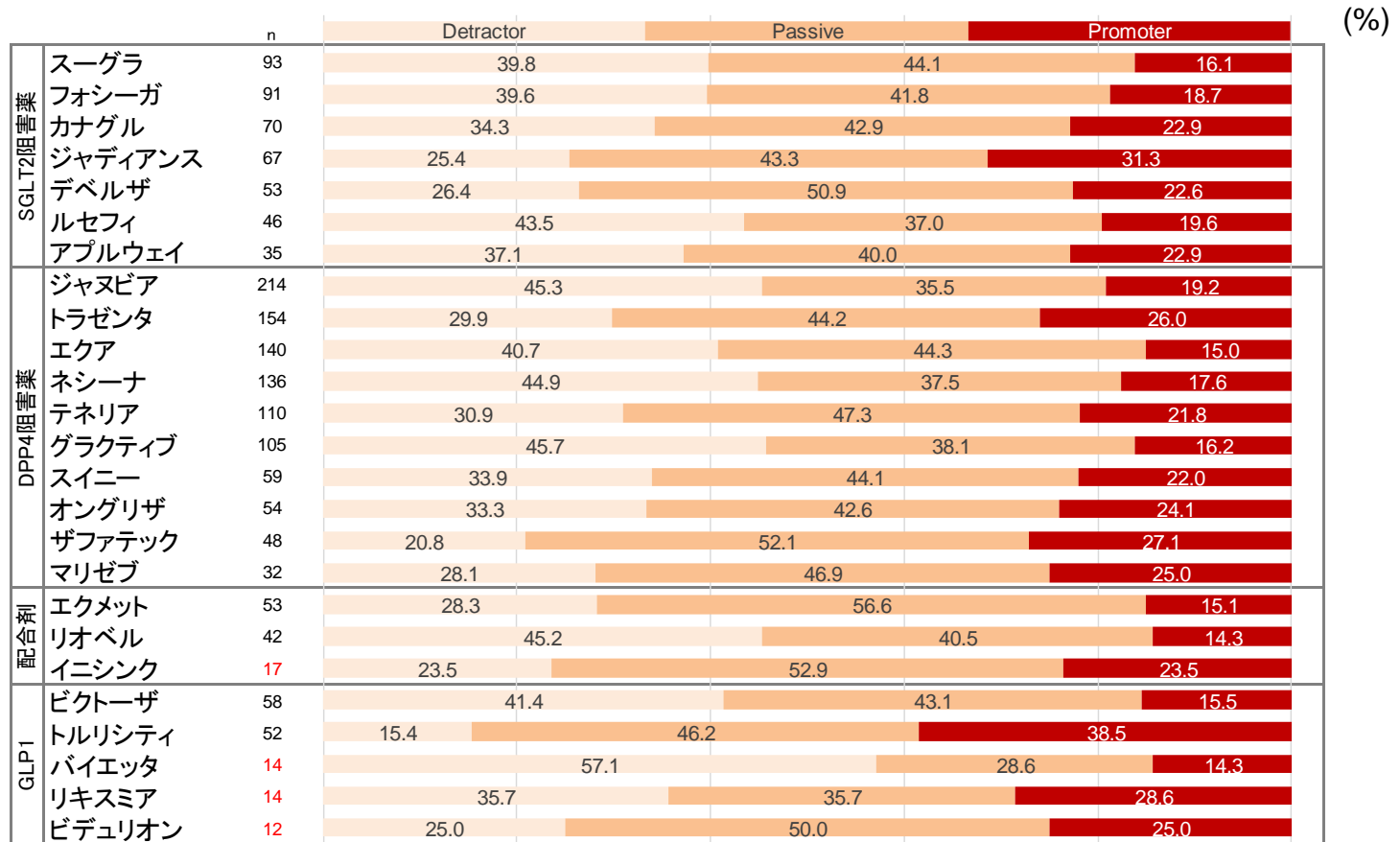
(%)

Q3.ここ1か月に2型糖尿病薬物療法実施患者さんに対して、処方なされた製品別に、処方人数をお知らせください。

■ 基数:ここ1か月の2型糖尿病薬物療法実施患者;n=18,682人/309Dr

NPS(回答分布)

- [Promoter]の比率が最も高いのはトルリシティ(GLP-1受容体作動薬)で39%、次いでジャディアンズ(SGLT2阻害薬)31% 薬剤によるばらつきはあるものの、[Passive]、[Detractor]計が7割台を占める薬剤が25剤中12剤、8割台を占める割合が11剤。

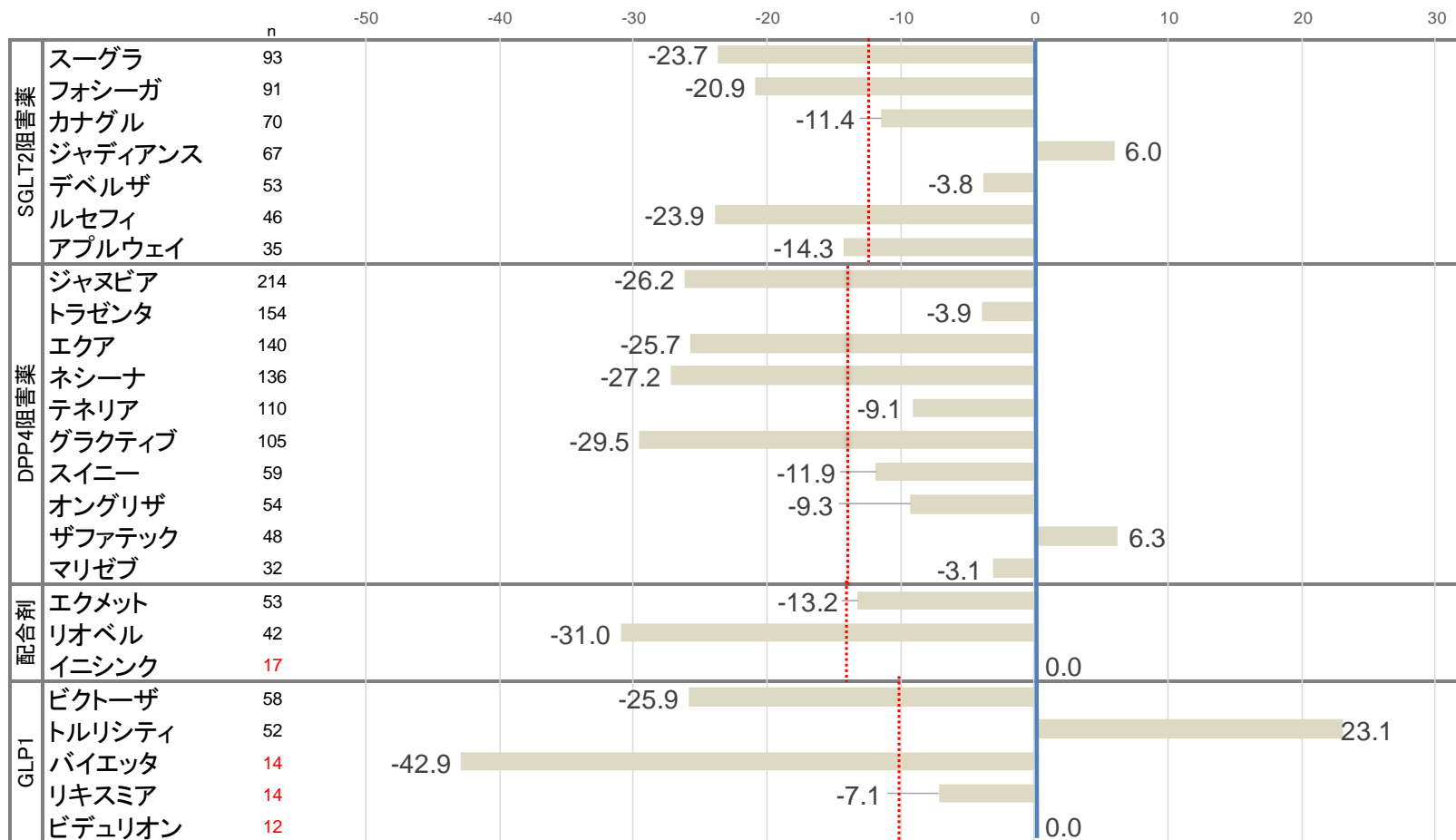


Q4.ここ1カ月に2型糖尿病薬物療法実施患者さんに対して、処方なされた製品について、「他の先生への推奨意向」を聞かれた場合、先生はどの程度勧めたいと思いますか。
 (矢印方向にそれぞれひとつだけ)※その薬剤の処方適性がある患者さんにおける状況をご想定ください。※[[10]是非とも勧めたい～[0]まったく勧めたくない]の11段階であてはまるものをお選びください。[Promoter]10,9回答者/[Passive]8,7回答者/[Detractor]0～6回答者

■基数:ここ1カ月の2型糖尿病薬物療法実施患者10人以上の医師;n=309

NPS(Score)

- NPSがプラスの値を示したのは3剤で、トルリシティ(GLP-1)が23.1ポイントで最も高く、次いでザファテック(DPP4阻害薬)6.3ポイント、ジャディアンス(SGLT2阻害薬)6.0ポイント。



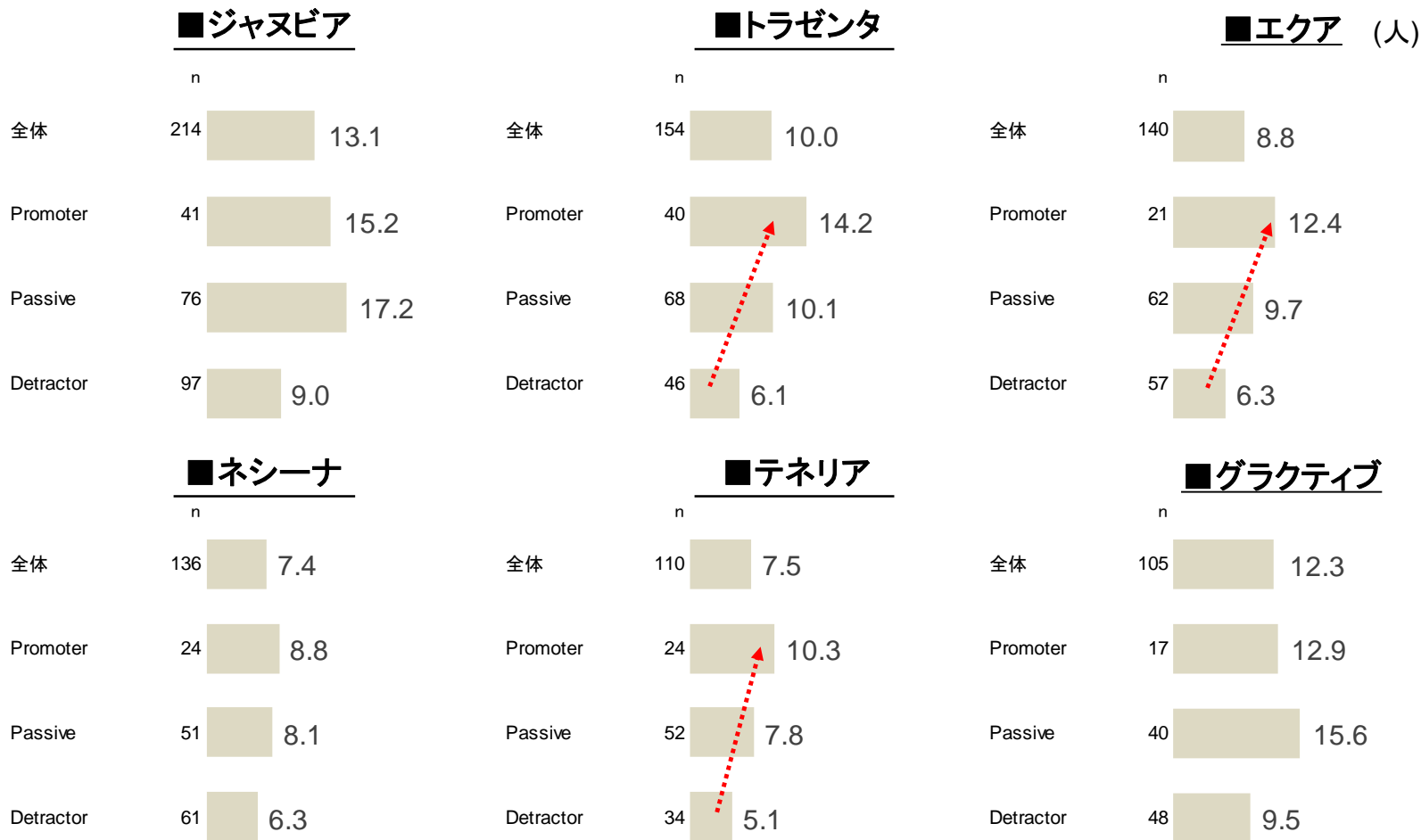
..... ※薬効間平均値

(算出方法)[Promoter]回答率から[Detractor]回答率を除外。

■ 基数:ここ1カ月の2型糖尿病薬物療法実施患者10人以上の医師;n=309

推奨度 × 処方患者数との関係

- ユーザーが100名以上のDPP4阻害薬について、NPSのセグメント別に、医師1人あたりの処方患者数の関係を確認すると、特にトラゼンタ、エクア、テネリアで[Promoter]の処方人数の増加がみられた。



Q3.ここ1か月に2型糖尿病薬物療法実施患者さんに対して、処方なされた製品別に、処方人数をお知らせください。

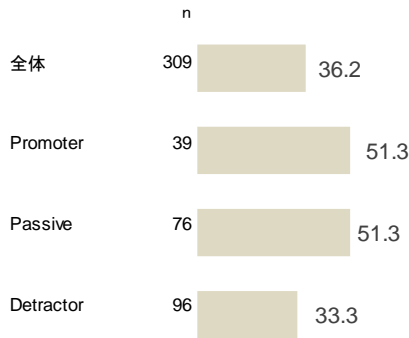
■ 基数:ここ1か月の2型糖尿病薬物療法実施患者

推奨度×メーカー評価との関係

- ユーザーが100名以上のDPP4阻害薬の販売メーカーの評価をみると、8社中4社で、推奨度との相関がみられた。

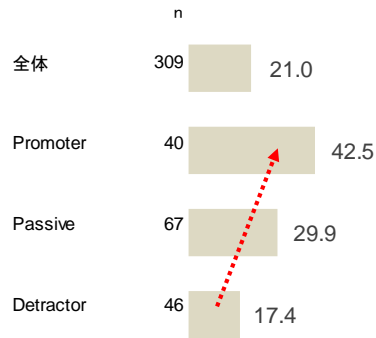
(ジャヌビア)

■ MSD

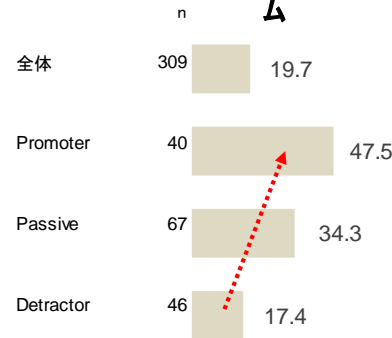


(トラゼンタ)

■ 日本イーライリリー



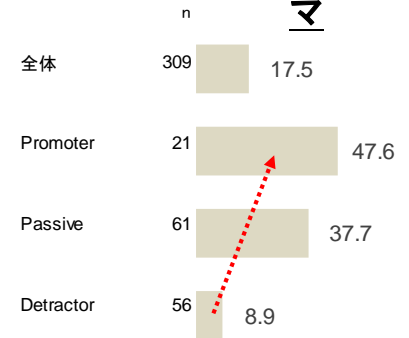
■ 日本ベーリンガーインゲルハイム



(エクア)

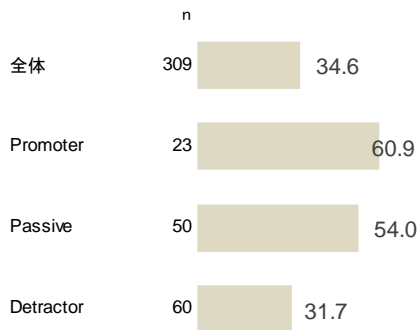
(%)

■ ノバルティスファーマ



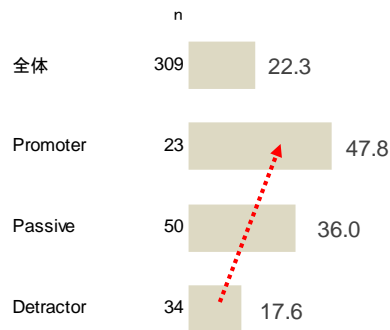
(ネシーナ)

■ 武田薬品

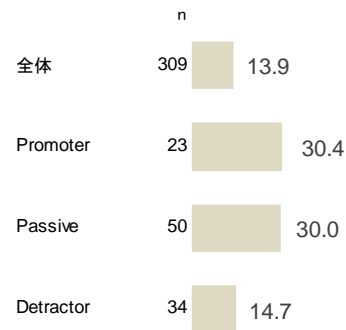


(テネリア)

■ 第一三共

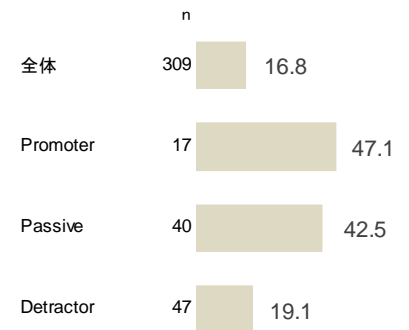


■ 田辺三菱製薬



(グラクティブ)

■ 小野薬品



Q. 2型糖尿病薬物療法の情報提供に関して、先生が「評価する」とお考えのメーカー名をすべてお選びください。(いくつでも)

■ 基数: 各薬剤使用医